

大阪歯科大学大学院
医療保健学研究科口腔科学専攻博士課程(後期)

2025年度シラバス(授業計画)

科目区分	授業科目	ページ
共通科目	医療保健開発論	1
	医療保健労働衛生論	2
	医療保健人材管理学	3
	医療保健組織運営論	4
	口腔科学研究特論	5
	口腔科学研究指導論	6
専門科目	口腔科学研究指導実習	7
専門研究科目	口腔科学高度専門研究	8

共通科目:6単位 ※ すべて必修科目とする。	
「医療保健開発論」	1 単位
「医療保健労働衛生論」	1 単位
「医療保健人材管理学」	1 単位
「医療保健組織運営論」	1 単位
「口腔科学研究特論」	1 単位
「口腔科学研究指導論」	1 単位

専門科目:1単位 ※ 必修科目とする。	
「口腔科学研究指導実習」	1 単位

専門研究科目:8単位以上 ※ 必修科目とする。	
「口腔科学高度専門研究」	8 単位

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(博士課程)

授業科目	医療保健開発論							
科目担当	○柿本 和俊、橋本 正則、樋口 鎮央、倉光 祥平							
授業コード								
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修							
単位数	1単位							
授業の概要と方法	研究開発能力や産学連携能力を養成する科目である。口腔科学において優れた研究を実践するには、多くの開発を成し遂げてきた研究機関の状況を知り、広い視野を持ち、独創的な発想ができるとともに、他機関と協力して研究を遂行する能力が必要である。この科目では、口腔科学に関連する企業での学修と学生間の討議によって多角的な研究開発能力を身に付ける。							
授業の到達目標	医療保健に関する開発経緯、現状及び今後の予測を検討する。							
	1	歯科関連企業での研究開発を説明できる。						
	2	医薬品関連企業での研究開発を説明できる。						
	3	企業と教育機関での研究の共通点と相違点を説明できる。						
	4	産学連携を説明できる。						
授業計画	回	内 容	形式	教員	月日	曜日	時 限	場 所
	1	歯科用デジタル機器の開発①	講義	樋口	8月23日	土	1	天 研修センター
	2	歯科用デジタル機器の開発②	講義	樋口	8月23日	土	2	天 研修センター
	3	新規材料の企業との開発	講義	橋本(正)	8月28日	木	6	天 研修センター
	4	産学連携の器材開発	講義	橋本(正)	9月4日	木	6	天 第2教室
	5	口腔ケア製品(医薬部外品・雑貨品等)の研究開発①	実習	倉光	9月6日	土	1	天 研修センター
	6	口腔ケア製品(医薬部外品・雑貨品等)の研究開発②	実習	倉光	9月6日	土	2	天 研修センター
	7	産学連携の研究開発例についての討議	討議	柿本・橋本(正)・樋口	9月6日	土	3	天 研修センター
	8	今後の産学連携の研究開発に関する討議	討議	柿本・橋本(正)・樋口	9月6日	土	4	天 研修センター
成績評価の方法	報告書とプレゼンテーションで評価する。 授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の筆頭教員が評価を決定する。 評価の割合は、報告書 40%、プレゼンテーション 60%とする。							
授業外で行うべき学修	1～4回の授業内容については、30分以上の復習を行い授業内容を整理して下さい。 5～6回の見学については、見学を通じて学修したことを報告書として7回の講義で提出して下さい。 産学連携の研究開発の実例と自らが考える今後の産学連携の研究開発に関するプレゼンテーションを作成して下さい。							
使用テキスト	配布資料							
参考書(参考資料等)	スタート!「産学連携」シナリオで体験する成功のプロセス 日本プラントメンテナンス協会							
その他 (キャリアとの関係、受講生への要望等)	研究者としての研究能力を高め、多くの他の研究者や機関と協力して研究・開発できる能力と広い視野を持つ研究者となるための科目です。 企業での研究開発について自発的に学習しておく必要があります。 第7、8回の授業は、平日の日中半日の企業研究所の見学実習の予定です。							

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(博士課程)

授業科目	医療保健労働衛生論							
科目担当	○中塚 美智子、奥田 恵司、大河 貴久							
授業コード								
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修							
単位数	1単位							
授業の概要と方法	<p>病院、診療所などの医療機関では電磁波や放射線、各種薬剤や医療機器など、人体に影響を及ぼす可能性があるものを日常的に用い、医療スタッフ、患者双方ともに常に感染の危険にさらされている。一方、長時間労働、人材不足、事業所の環境、設備の不備などといった問題も医療業界全体に横たわっている。</p> <p>医療スタッフには、これら労働災害につながる恐れのあるものに対する知識はもちろん、高い危機管理能力が求められることから、本科目では基本的な労働衛生に関する制度や法などについて学修するとともに、労働災害を減少させるために国が重点的に取り組む事項を定めた第14次労働災害防止計画にも触れ、現在労働衛生で考えていかねばならない諸問題について理解を深める。</p> <p>最終回には各自の事業所等における労働衛生の課題について、まとめ発表と討議を行う。</p>							
授業の到達目標	基本的な労働衛生に関する制度や法、5管理、現在の労働衛生に関する諸問題について理解する。							
	1	基本的な労働衛生に関する制度や法、5管理、現在の労働衛生に関する諸問題について理解する。						
	2	労働基準法・労働安全衛生法について説明できる。						
	3	労働衛生における5管理について説明できる。						
	4	事業所における産業保健について理解できる。						
	5	第14次労働災害防止計画について説明できる。						
授業計画	6	事業所におけるリスクアセスメントについて理解できる。						
	回	内 容	形式	教員	月日	曜日	時間	場 所
	1	労働衛生とは何か講義	講義	中塚	5月13日	火	6天	第2教室
	2	労働基準法・労働安全衛生	講義	中塚	5月20日	火	6天	コンピュータ演習室
	3	産業保健	講義	中塚	5月27日	火	6天	第2教室
	4	医療機関におけるリスクアセスメント①	講義	大河	7月12日	土	4天	研修センター
	5	労働衛生における5管理①	講義	奥田	6月17日	火	6天	第2教室
	6	労働衛生における5管理②	講義	奥田	6月24日	火	6天	研修センター
	7	医療機関におけるリスクアセスメント②	講義	大河	7月3日	木	6天	第2教室
	8	第14次労働災害防止計画	講義	中塚	7月25日	金	6天	第2教室
9	労働衛生の課題についてのまとめと討議	演習	中塚	7月22日	火	6天	コンピュータ演習室	
成績評価の方法	<p>課題レポートと討議参加で総合評価する。</p> <p>評価の比率は課題レポート 60%、討議参加 40%とする。</p> <p>講義担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の筆頭教員が評価を決定する。</p>							
授業外で行うべき学修	授業後には各回30分以上は復習をして学修内容を整理するとともに、授業以外にも自主的に労働衛生について学修してください。そして、自分が現在所属している事業所などにおける労働衛生状況をまとめて課題レポートとして、最終の授業時に課題発表できるようにしてください。							
使用テキスト	配付資料							
参考書(参考資料等)	労働衛生のしおり 中央労働災害防止協会							
その他(受講生への要望等)	労働衛生の観点から教育、医療及び研究機関において指導者・管理者となるのに必要な管理能力を養成する科目です。積極的に新しい知識を学修する態度を身に付けてください。							

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(博士課程)

授業科目	医療保健人材管理学							
科目担当	○中塚 美智子、田中 雅子、高岡 裕、築部 卓郎							
授業コード								
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修							
単位数	1単位							
授業の概要と方法	組織では多用な人材、多用な部署が共通の目標に向かって動く。特に医療機関ではさまざまな資格を有するスタッフが協働し、一人ひとりの患者に向き合う。その際、スタッフ個々の専門性のみならずチームが持つ能力を遺憾なく発揮し、組織の理念、目標を達成できることが望ましい。本科目ではその中心的要素である人材の確保、人材育成及び活用等、人的資源管理に必要な知識・技術等について学修するとともに、キャリア開発についても理解を深める。							
授業の到達目標	組織の理念、経営目標を達成するために必要な人的資源管理を行うための知識・技術等について理解する。							
	1	組織とは何かについて説明できる。						
	2	医療機関における組織の特殊性について説明できる。						
	3	組織における労務管理の諸方策について説明できる。						
	4	組織における人材育成及び活用法について理解できる。						
5	労働者のキャリア開発について説明できる。							
授業計画	回	内 容	形式	教員	月日	曜日	時 限	場 所
	1	医療機関における組織	講義	高岡	5月31日	土	3	天 研修センター
	2	労働者のキャリア開発	講義	中塚	6月16日	月	6	天 第2教室
	3	病院の人的資源管理I	講義	築部	6月21日	土	1	天 研修センター
	4	病院の人的資源管理II	講義	築部	6月21日	土	2	天 研修センター
	5	組織とは何か	講義	田中(雅)	7月19日	土	1	天 研修センター
	6	組織における労務管理	講義	田中(雅)	7月19日	土	2	天 研修センター
	7	組織における人材育成及び活用法	講義	田中(雅)	7月19日	土	3	天 研修センター
	8	医療機関スタッフのキャリア開発 I	講義	中塚	7月28日	月	6	天 研修センター
9	医療機関スタッフのキャリア開発 II	討議	中塚	8月4日	月	6	天 第2教室	
成績評価の方法	課題レポートと討議参加で総合評価する。 評価の比率は課題レポート 60%、討議参加 40%とする。 講義担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の筆頭教員が評価を決定する。							
授業外で行うべき学修	授業後には各回 30分以上は復習をして学習内容を整理するとともに、授業以外にも自主的に労働衛生について学修してください。 そして、病院の人的資源管理について自らの考えをまとめて課題レポートとして、最終の授業時に提出してください。							
使用テキスト	配付資料							
参考書(参考資料等)	医療経営の基本と実務—経済産業省サービス産業人材育成事業医療経営人材育成テキスト 日経メディカル開発 学習する病院組織 松尾 睦 同文館出版 医療プロフェッショナルの経験学習 松尾 睦編 同文館出版							
その他 (受講生への要望等)	労働衛生の観点から教育、医療及び研究機関において指導者・管理者となるのに必要な管理能力を養成する科目です。 積極的に新しい知識を学修する態度を身に付けてください。 質問はメールで送信してください。							

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(博士課程)

授業科目	医療保健組織運営論							
科目担当	○神 光一郎、佐久間 泰司、田中 将之、松尾 貴巳							
授業コード								
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修							
単位数	1単位							
授業の概要と方法	組織では、多様な人材、多様な部署が共通の目標に向かって動く。特に、医療機関では様々な資格を有するスタッフが協働し、一人一人の患者に向き合う。その際、スタッフ個々の専門性のみならずチームが持つ能力を遺憾なく発揮し、組織の理念、目標を達成できることが望ましい。強い組織を作るための基礎を知り、また組織を効果的に動かすために、組織の構造及び機能、リーダーシップ論、意思決定、リスク管理などといった医療機関も含めた組織の運営に必要な知識や理論について学修する。							
授業の到達目標	組織の構造および機能、リーダーシップ論、意思決定、リスク管理といった、組織の運営に必要な知識、理論について概説できる。							
	1	組織を取り巻く社会経済・政策環境について説明できる。						
	2	組織の構造及び機能について説明できる。						
	3	組織における事業計画の策定および意思決定、実行について説明できる。						
	4	組織におけるリーダーシップについて理解できる。						
	5	組織におけるリスク管理について説明できる。						
授業計画	6	組織におけるコンフリクトマネジメントについて説明できる。						
	回	内 容	形式	教員	月日	曜日	時 限	場 所
	1	組織における事業計画の策定及び意思決定、管理	講義	松尾	5月31日	土	1	天 研修センター
	2	医療法人及び学校法人等非営利組織と経営管理デザイン	講義	松尾	5月31日	土	2	天 研修センター
	3	組織におけるリスク管理	講義	佐久間	6月14日	土	1	天 研修センター
	4	組織におけるコンフリクトマネジメント	講義	佐久間	6月14日	土	2	天 研修センター
	5	医療組織を取り巻く社会経済・政策環境	講義	田中(将)	7月12日	土	1	天 研修センター
	6	医療組織の構造と機能	講義	田中(将)	7月12日	土	2	天 研修センター
	7	医療組織におけるリーダーシップ	講義	田中(将)	7月12日	土	3	天 研修センター
	8	医療法人及び学校法人におけるリスク管理	講義	神	7月26日	土	1	天 第2教室
9	組織運営のあり方	討議	神	7月26日	土	2	天 第2教室	
成績評価の方法	課題レポートと討議参加で総合評価する。 評価の比率は、課題レポート60%、討議参加40%とする。 授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の筆頭教員が評価を決定する。							
授業外で行うべき学修	授業で学修した内容を整理し、自身の所属する教育・研究あるいは医療組織の運営に照らし合わせて考えるようにしてください。 本学もしくは自身が所属する組織の運営に対する自らの考えをまとめて課題レポートとし、最終の授業時に提出してください。これをもとにして討議を行いますので、プレゼンテーションも併せて作成してください。							
使用テキスト	テキストの指定はありません。配付資料により授業を行います。							
参考書(参考資料等)	「病院」の教科書 知っておきたい組織と機能 医学書院 医療安全のエビデンス 患者を守る実践方策 医学書院 医療経営の基本と実務-経済産業省サービス産業人材育成事業医療経営人材育成テキスト 日経メディカル開発 医療プロフェッショナルの経験学習 松尾 睦編 同文館出版 1からの病院経営 木村憲洋、的場匡亮、川上智子 硯学舎							
その他 (受講生への要望等)	教育、研究及び医療機関での管理者となるための運営力を身に付ける科目です。積極的に新しい知識を学修する態度を身に付けて授業に臨んでください。 質問糖があれば、電子メールにて連絡してください。							

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(博士課程)

授業科目	口腔科学研究特論							
科目担当	○神 光一郎、藤井 孝政、糸田 昌隆、橋本 正則、益野 一哉、中塚 美智子、谷 亜希奈							
授業コード								
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修							
単位数	1単位							
授業の概要と方法	口腔科学における研究内容を理解し、興味がある課題だけではなく、研究者としての広い視野を養成する科目である。医療保健基礎学分野、医療保健教育学分野、医療保健政策学分野、口腔機能回復学分野、口腔機能回復学分野、先進口腔保健学分野、口腔材料学分野及び先進口腔工学分野の7つの研究分野の研究の現状を理解し、口腔科学における研究のあり方を考え、自己の研究への参考とする。							
授業の到達目標	口腔科学に関するこれまでの研究を知り、広い視野を持つ。							
	1	本学での研究の現状を理解する。						
	2	過去の研究からの新たな研究の誘導について説明できる。						
	3	口腔科学に関する研究を多角的に把握できる。						
	4	研究についての客観的評価ができる。						
	5	他分野の研究を自身の研究に生かすことができる。						
授業計画	回	内 容	形式	教員	月日	曜日	時限	場 所
	1	医療保健基礎学に関する研究	講義	中塚	4月7日	月	6	天 第2教室
	2	口腔機能回復学に関する研究	講義	糸田	4月21日	月	6	天 第2教室
	3	先進口腔保健学に関する研究	講義	谷	4月24日	木	6	天 第2教室
	4	医療保健政策学に関する研究	講義	神	5月8日	木	6	天 第2教室
	5	口腔材料学に関する研究	講義	橋本(正)	5月15日	木	6	天 第2教室
	6	医療保健教育学に関する研究	講義	益野	5月22日	木	6	天 第2教室
	7	先進口腔工学に関する研究	講義	藤井	5月29日	木	6	天 第2教室
	8	口腔科学に関する研究の今後	討議	神・藤井・糸田 橋本(正)・中塚 谷	6月12日	木	6	天 研修センター
成績評価の方法	課題レポートと討議参加で評価する。 評価の比率は課題レポート 60%、討議参加 40%とする。 授業担当教員の個々の評価をもとに、科目担当欄の筆頭教員が評価を決定する。							
授業外で行うべき学修	授業内容を振り返り、十分に理解できなかった内容については、補講を実施しますので、授業担当教員に申し出てください。 自らが考える口腔科学に関する研究の今後についての課題レポートを作成して、最終の授業までに提出してください。							
使用テキスト	配付資料							
参考書(参考資料等)	なし							
その他 (受講生への要望等)	広い視野を持つ優れた研究者になるために必要な科目で、口腔科学に関する研究を広範囲に学修します。 講義内容について自発的に学習しておくことが望ましい。							

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(博士課程)

授業科目	口腔科学研究指導論							
科目担当	○橋本 正則、神 光一郎、藤井 孝政、山中 武志、佐久間 泰司							
授業コード								
開講年次・学科・授業区分	1年・前期・必修							
単位数	1単位							
授業の概要と方法	研究指導に関する知識を獲得し、口腔科学における研究の指導的役割が担える技量を養成する科目である。研究経験がほとんどない学生に対しての研究課題や研究計画に対する立案指導要領や研究補助や助言のあり方を学修するとともに、歯科医学や口腔科学において研究を指導してきた教員が経験してきた実践的経験から知識を得て、指導における留意点や心理的側面について学修する。							
授業の到達目標	指導者に必要な要件を理解して指導のあり方を検討する。							
	1	指導者の役割を説明できる。						
	2	研究計画の立案指導を説明できる。						
	3	研究の実施の指導方法を説明できる。						
	4	研究初心者を理解し適切な指導を考えられる。						
5	論文を適切に修正し作成者に説明できる。							
授業計画	回	内 容	形式	教員	月日	曜日	時 限	場 所
	1	研究指導者の役割	講義	橋本(正)	4月11日	金	6	天 研修センター
	2	研究計画立案の指導	講義	橋本(正)	4月16日	水	6	天 研修センター
	3	研究設備の指導	講義	橋本(正)	4月25日	金	6	天 研修センター
	4	研究初心者への対応	講義	山中	5月9日	金	6	天 研修センター
	5	調査研究の指導	講義	神	6月3日	火	6	天 第2教室
	6	ハラスメントの認識と防止	講義	佐久間	6月14日	土	3	天 研修センター
	7	臨床研究の指導	講義	藤井	7月4日	金	6	天 第2教室
	8	論文の作成指導	講義	橋本(正)	7月11日	金	6	天 研修センター
	9	適切な研究指導とは	演習	橋本(正)・山中	7月18日	金	6	天 研修センター
成績評価の方法	課題レポートと討議参加で評価する。 評価の比率は課題レポート50%、討議参加50%とする。 授業担当教員の個々の評価をもとに 科目担当欄の筆頭教員が評価を決定する。							
授業外で行うべき学修	講義内容を各自で20分以上は復習するようにしてください。自らが考える研究指導や、さらには将来教育者となる大学院学生の教育についての課題レポートを作成して、最終の授業時に提出してください。これをもとにして討議を行いますので、プレゼンテーションも併せて作成してください。							
使用テキスト	授業中の配付資料							
参考書(参考資料等)	シリーズ 大学の教授法研究指導 玉川大学出版部							
その他 (受講生への要望等)	教育者や研究者に対する指導者並びに広い視野を持つ教育者・研究者となるために、教育者や研究者の指導者となるための科目です。 講義内容について自発的に学習しておくことが望ましい。 質問対応は、電子メールにて連絡してください。							

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(博士課程)

授業科目	口腔科学研究指導実習								
科目担当	研究領域に基づいて主指導教員と副指導教員を決定する。								
授業コード									
開講年次・学科・授業区分	1年前期～3年後期・必修								
単位数	1単位								
授業の概要と方法	修士課程若しくは博士課程(後期)の大学院学生の研究に協力し、助言することで、実践的な研究指導能力を養成する科目である。修士課程もしくは博士課程(後期)の大学院学生の研究の立案に対して、主指導教員と副指導教員の指導のもとで、助言を行うとともに、大学院学生と適切なコミュニケーションを取りながら研究を補助・指導し、主指導教員と副指導教員と協調して、学会発表と論文作成に対する助言を行い、研究指導者としての実践力を身に付ける。								
授業の到達目標	研究指導の実践から教育・研究者を目指す者に対する指導者としての素養を身に付ける。 <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>学生の資質を正しく理解できる。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>研究目的に沿って研究が進行するように指導できる。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>研究成果の整理と考察方法を指導できる。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>作成した論文の校閲ができる。</td> </tr> </table>	1	学生の資質を正しく理解できる。	2	研究目的に沿って研究が進行するように指導できる。	3	研究成果の整理と考察方法を指導できる。	4	作成した論文の校閲ができる。
1	学生の資質を正しく理解できる。								
2	研究目的に沿って研究が進行するように指導できる。								
3	研究成果の整理と考察方法を指導できる。								
4	作成した論文の校閲ができる。								
授業計画	1回 指導する研究の概要説明(講義) 指導教員から修士課程もしくは博士課程(後期)の学生の学習状況と研究に関する説明を受け、2回目以降の授業に役立てる。 2回～12回 研究補助・助言の実践(実習) 修士課程もしくは博士課程(後期)の学生の研究に協力し助言を行う。また、指導教員の大学院学生に対する指導に立ち会い、指導方法についての実践的内容を学修する。 13～14回 報告書の作成(実習) 研究補助・助言指導の実践を行った内容と「口腔科学研究指導論」で学修した内容を踏まえて、研究指導のあり方についての報告書を作成する。 15回 指導方法の検討(討議) 各自の報告書の内容をもとにして、討議を行い、研究指導のあり方を考える。								
成績評価の方法	報告書と討議内容で評価する。 評価の比率は報告書 60%、討議 40%とする。 主指導教員が評価を決定する。								
授業外で行うべき学修	学生の研究をあらかじめ調査し、補助・助言に役立てるようにしてください。また、各回ごとに修士課程もしくは博士課程(後期)の学生研究状況を振り返り、大学院学生に対して、どのような指導や教育が必要であるかを考えてください。それらを整理して報告書の作成に役立ててください。 指導報告書に規定の様式はありません。各自が考える適切な記載様式で報告書を作成してください。								
使用テキスト	指導教員の指示に従ってください。								
参考書(参考資料等)	シリーズ 大学の教授法 研究指導 玉川大学出版部								
その他(キャリアとの関係、受講生への要望等)	教育者や研究者に対する指導者並びに広い視野を持つ教育者・研究者となるための実践力を高める科目です。 学生の研究を十分に補助・助言できるように自発的に学習しておいてください。								
質問対応、連絡先	電子メールにて連絡してください。								

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。

2025年度 医療保健学研究科口腔科学専攻(博士課程)

授業科目	口腔科学高度専門研究
科目担当	研究領域に基づいて主指導教員と副指導教員を決定する。
授業コード	
開講年次・学科・授業区分	1年前期～3年後期・必修
単位数	8単位
授業の概要と方法	選択した研究領域の内容に基づいて、独創的な発想による研究課題を見つけ、研究を実践し博士論文を作成する科目である。研究指導教員と十分討議の上で、必要な修正を加え、研究を遂行する。そして、データを収集し、分析、考察を行って、学会発表し博士論文としてまとめる科目である。研究に当たっては、研究経過を主指導教員と副指導教員に報告し、助言を求めるとともに必要に応じて指導を受ける。研究施設・設備として、必要に応じて楠葉学舎、中央歯学研究所及び附属病院が利用可能である。更に、所定の手続きを踏むことで、学外施設を利用することもできる。
授業の到達目標	自ら研究計画を立案、実践、整理して論文にまとめる能力を養成する。 1 独創的な研究課題を考えることができる。 2 先行研究を調査し研究に活用できる。 3 先進的な発想で研究計画を立案できる。 4 研究の実施と必要に応じた計画の修正ができる。 5 研究データを論理的に分析できる。 6 口腔保健学や口腔工学の発展に寄与できる論文を作成できる。
授業計画	1～3回 研究課題の設定 指導教員に指導を受けて、自己の発案に基づいて関連文献を検索し、選択した領域に応じた研究課題を決定する。 4～10回 研究計画の立案 助言を受けながら、先行研究や研究計画立案にかかわる文献を検索して研究課題に関する研究計画を立案する。 11～15回 倫理審査 学内の「医の倫理委員会」の審査に必要な書類を作成して提出する。委員会の審査後必要に応じて提出所対を修正のうえで再提出して承認を得る。 16～90回 データ収集と分析 研究計画に基づいて、データを収集し、分析する。データ分析の結果、研究計画等の変更の必要がある場合は、指導教員と検討の上、倫理委員会に研究計画変更を申請する。変更の必要がない場合はそのままデータ収集を継続する。 91回～95回 中間発表 研究データを整理し、歯学研究科と合同での中間発表会で成果を発表する。 96回～102回 学会発表 中間発表での試適を踏まえて、必要に応じてデータ収集を追加し、指導教員の指導を受けながらデータを集計・分析して、日本歯科医学会分科会での発表を行う。 103回～116回 研究論文の作成と学術雑誌への論文投稿 指導教員の指導を受けて、文献を検討し、研究データを分析し、博士論文を作成して、学術雑誌に投稿する。そして査読結果に応じて掲載が受理されるように修正する。 117～120回 論文審査書類の作成 論文審査のために提出する印刷論文と関連書類を作成して提出する。
成績評価の方法	各セメスターごとの研究経過を評価する。 主指導教員が評価を決定する。
授業外で行うべき学修	メディアや関連する報告から常に新しい情報を収集する。
使用テキスト	指導教員の指示に従ってください。
参考書(参考資料等)	研究課題に関係する書籍・論文
その他(キャリアとの関係、受講生への要望等)	医療保健における独創的かつ広い視野での研究ができる研究者となるための科目です。指導教員の指導を受けながら、積極的に情報収集を行い、優れた論文を作成してください。授業計画は基準であり、必ずしも計画のとおりでの進行でなくても構いません。
質問対応、連絡先	電子メールにて連絡してください。

注1 時限は、1時限:9時～10時30分、2時限:10時45分～12時15分、3時限:13時15分～14時45分、4時限:15時～16時30分、5時限:16時45分～18時15分、6時限:18時30分～20時

注2 [天]は天満橋学舎、[楠]は楠葉学舎、[牧]は牧野学舎、研修センターは歯科衛生士研修センターを表します。

注3 歯科衛生士研修センターは西館4階、中央技工室は西館6階、第1教室、第2教室、デジタル加工実習室は西館8階です。